

公表日 令和5年3月15日

社会福祉法人みつば会
児童発達支援事業所すずらん

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点等	改善内容や改善目標
環境 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		・活動エリア間の動線を工夫しスペースの有効利用に努めている。	
	2	職員の配置数は適切であるか	○			・職員の確保に努める。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		・職員会議の記録等を非常勤職員に周知して、共通認識が持てるように努める。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		・評価表の事業所内掲示及び公報、ホームページにより公表している。	・非常勤職員への周知の工夫が必要。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		・外部評価を積極的に業務改善につなげ、その結果を示していく。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・Web研修用のPCを購入し、研修の機会確保に役立っている。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		・子どもと保護者のニーズや課題と事業所でのアセスメントをすり合わせ支援計画を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		・職員で確認し合い内容を検討している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		・更に個別化したプログラム設定に努める。 ・職員各々に課題設定に応じた支援の仕方を再度徹底する必要がある。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		・アセスメントをもとに、より個別化された個別支援と小集団活動を組み合わせた計画を作成している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		・職員間で打ち合わせを実施し、支援内容や役割分担を確認している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○	・支援記録のデジタル化を導入して共有を図っている。	・気になる点に関しては時間のある限り、支援の振り返りや方向性を検討し共通認識のもと支援にあたる。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・記録を点検・確認するとともに記録を職員間で共有している。	・個別支援計画に沿った支援内容の記録を確実に記載する。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		・半年に1回のモニタリングを確実に実施し、それ以外でも状況が変われば必要に応じて見直している。		
関係機関や保護者との連携	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○		・ガイドラインを基に複数組み合わせ実施している。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		・児童発達支援管理責任者が参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		・毎月学校発行の行事予定表及び下校時刻予定表をもとに連絡調整を行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			・必要があれば保護者と綿密に連携し、医療との連絡体制を整えるようにする。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点等	改善内容や改善目標
関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		・定期的に保育所等と連携し、支援内容等の情報共有を図っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			・障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、迅速に対応できる体制を構築する。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		・児童発達支援センターと連携し、指導・助言を受けている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		・管理者または児童発達支援管理責任者等が参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・面談や利用時の「連絡ノート」、送迎時の際に伝えている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		・契約時に契約書及び重要事項説明書で説明している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		・子育ての悩みはもちろん、保護者自身の悩み等の相談を受け保護者をサポートするようにしている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			・新型コロナウイルス感染状況を見ながら、親子会の流れの中で保護者同士の交流が図れるような場の設定をする。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・契約時に契約書及び重要事項説明書で説明し、事案が生じた場合は迅速に対応している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		・感染症拡大防止に努めながら、親子会や所外活動等では地域の施設に出向いて交流を図った。	
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・非常勤職員への周知の工夫が必要。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		・避難訓練(火災・地震・不審者対応)を計画的に実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・虐待防止委員会を設置するとともに、法人全体での虐待防止研修に参加した。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		・身体拘束等の適正化のための指針をもとに、身体拘束等の適正化のための職員研修に参加するなど適切な対応に努めている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		・現在は指示書による対応が求められている利用者はいない。	・必要があれば保護者と綿密に連携し、指示書による対応をに努める。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・ヒヤリハット事例が周知されるよう文書を作成して回覧するなど共有化を図る。